



くんぱるたより

H28 10/31 NO.68



☆ 真剣だから・・

肌寒い冷たい風が吹く季節になってまいりました。暑苦しかったのが遠い頃のように思えるこの頃です。風邪などの病気が流行りだします。水分を取り喉を乾燥させないようにしましょう。

さて、去る 10/23 に「グレートくんぱる 1J カップ Z」というミニ四駆の大きなレースを初めて行いました。総合体育館の会議室を貸切、総勢 130 名超えの方々にお越しになっていただき、大人も子どもも楽しく、参加できたように思えます。もっと子どもたちに大きなコースで走らせた、大人の真剣を見せたい、等々、普段、ミニ四駆で絆を深めているお父さん方の協力の下、実現できた大会だと思っております。人間一人ではできないことが多いですが、一つの目標に向かい力を合わせたら、大概のことは実現するということがよく実感できた一日でした。実行委員のお父さん方、参加してくれた子どもたち、一緒になって応援、観覧してくださった保護者の皆様に厚く感謝申し上げたいと思います。



「真剣になる」ことは大切で、ミニ四駆はその要素が大いに含まれているので、普及しようと思ったわけですが、真剣になるからうれしい、悔しい、もっとがんばろうという気持ちになると思います。昨今の子どもたちを見ていて、勝ち負けが全てではないですが、勝っても普通、負けてもへらへらなんて姿を見かけることが多くなりました。本心はもちろんわからないところは大きいにあるし、男目線というものもあるかと思いますが、「もっと感情を出してこいよ！」と感じております。なぜなのだろうと考えた結果、「真剣に取り組む」ことが少なくなったのだと考えます。受動的にこなせる環境の中で、突き詰めることややり抜くことが弱まっている、もう少し頑張れば伸びるよという手前で諦めてしまう、大人に手を貸してもらおうのかと。大人が手を貸すのはよしとしても、それで満足、今度はもう一度自分でやる機会が少ないから、勝負の場面での喜怒哀楽の差があまり見られないのではと考えます。みんななかよくはともいいこと。しかし、生きている限り、生きていくために勝負する場面は避けられません。先にも述べましたが、勝ち負けが全てではないけれども、「勝ちたい」という欲求は人間には必ずある。負けるより勝ちたい。当たり前前の感情です。運動会を見ても通知表を見ても良かったのか悪かったのか、ピンとこないのが今の教育社会を体現しているのではないのでしょうか？この勝負の場数を与えて上げる機会を増やすことも現代社会において必要なことかもしれません。ミニ四駆を製造販売しているタミヤの刺客ではありませんが、ミニ四駆においてきっかけは大人が作りました。しばらくして、大人は見守る・最低限助言する形で、子どもたちが自分自身で改造、セッティングをするルールを設定しレースに臨む。もちろんそうではない子もいていいのですが、自分で作り上げた子と、そうでない子のレース後の反応が明らかに違うと見てわかります。自分でマシンを作り上げる子は「真剣」そのもの。話しかけられないオーラさえあります。だから勝つとうれしい表情をするし、負けると悔しく、泣く子さえいます。そこから次は、次こそは！とがんばっているから芽が出て花が咲くのでしょうか。「本気でするから大抵のことはできる、本気でするからなんでも面白い、本気でいるから誰かが助けてくれる」という種を子どもたちの意識に植え付けたいと思います。

☆ お知らせ ☆

・ 10 月分利用料は 11/28(月)に口座より引き落としされますのでよろしくお願い致します。

くんぱるハウス神領の携帯電話を用意致しました。(番号 080-2298-2637)

右の LINE の QR コードを読み取り、登録をお願いいたします。利用の追加変更、その他連絡事項がある場合、お手数ですが今後、こちらにご連絡頂ますようお願い申し上げます。まだ未登録の方が見えます。ご協力お願いいたします。

